

企業の持続的な発展につながる SDGs 講演会あいさつ

まず、SDGs とは何か、既にご存知かと思いますが、SDGs とは「Sustainable Development Goals（サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ）」の略で、「持続可能な開発目標」という意味です。2015年9月に国際連合サミットで採択されました。2030年までに達成すべき17個の目標と、「いつまでに、何を、誰が、どのようにして取り組むか」を表した、169のターゲットから成り立っています。

このSDGsの背景にあるのは、地球環境が悪化して、貧困や差別に苦しむ人々がいる状態だと、地球と人類は存続できないという危機感です。

つまり、「今のままだと地球が大変なことになってしまうから、みんなで何とかしよう！」という感じですか。

町では、チラシにも記載してありますように、既に取り組みを進めているところがあります。

一方、企業の中でも、もう既に取り組みは進んでいます。

例えば、受動喫煙の防止、社内における健康経営の推進、女性用のトイレの設置、地域のボランティア清掃の参加、再生可能エネルギーの活用、フードロス削減などなど。

企業がSDGsを達成することは、「イメージの向上」「生存戦略」「新たな事業機会の創出」につながります。そして、大きな経済効果と雇用を生み出すと期待できます。

またSDGsを推進していく際には、環境保全と経済発展の両立を考慮して進めていかなければならないことを忘れてはいけません。

本日の会がみなさまにとりまして、有意義な会となりますよう、また企業のみなさまと一緒に、SDGsの取り組みを進めていけるよう、祈念いたしまして、開会にあたってのごあいさつといたします。

令和3年12月16日

北栄町長 手嶋俊樹